

ば・あ・や・の・う・け・う・り

〔在宅医療〕

在宅医療とは、病気になり通院できなくなった時に、自宅に往診してもらうことです。医師・訪問看護師・ケアマネジャー・ホームヘルパーなど、多くの方がチームで連携して、24時間対応の医療です。そして、最期まで…自宅で診ていただけます。

母は、寝たきりで7ヶ月目…退院した直後から、「ほし横塚クリニック…(星病院の診療所)」さんにお世話に。略して…ほしよこさん。

若い3人の先生が、交代で定期的に来てくださり、福島医大の実習生や研修医も同行。孫やひ孫のような先生に話しかけられ…ニコニコ。トンチンカンの会話でも、先生方も…ニコニコ。先生が、毎回代わる往診だけど、まったく違和感がなく、チームプレーの良さに安心です。ショートのお泊りも利用…契約事業所は7ヶ所、多くの方々に、お世話になっているのですが、それをすべて管理してくださっているのが、ケアマネさん。何かあればケアマネさんへ話せば、それぞれの事業所につながります。

日本の介護制度は、すばらしいですね。
将来…崩壊しませんように。

仕入先の若い営業マンさんが、フランスで、一年間ワインを勉強してきた、「ソムリエ」さん。

ワインのいろいろは、ちょっと聞いたくらいではなあ…。ところで、郡山のワインって…？

「う～ん…木が3年と、まだ若いですからね…。若いとどうなの？

「10年…20年たつと、根が地中に、大きく深く成長…それだけ養分をしっかりと吸収したぶどうに。

50年の木は、収穫量が5分の1になるけど、味が凝縮されたぶどうに。

そのぶどうで、特別なワインをつくったり…古木を切り、若木にして大量生産のワインをつくったり」と。そうか…木の年齢も、ワインの味に関係してるのね。

しぶくても…あまくても…
おいしい…っておもえたら
それでいいかな。

雨で中止になってしまった、ホタル観察会
世話役の夫は、朝から出たり入ったり、おちつかない。
「このまま、降らないでいてくれたらなあ…」と。
でも、予報どおり、夕方から雨に。
小学校の子供さんたちに、見せたかった夫は、
「来年もあるから…」と、自分をなぐさめている。
梅雨の中…ホタルの命は2週間…むずかしいね。
(ゲンジは6月下旬、ヘイケは7月上旬)
まっ黒な山を背景に、ゲンジボタルの大きな光は、
次から次へ…ぼっと光ってすうっとながれる。
カエルの合唱もあり…コンサートホールのように…。

父かしら離れぬホタル母の部屋



くわの実が、いっぱいおちてた…